



第3回

放射線生物学セミナー

- 会 期** 平成25年2月2日(土)
- 主 催** 日本放射線腫瘍学会教育委員会・生物部会
- 会 場** 東京医科歯科大学 歯科棟南4F 歯学部特別講堂
- 募集人員** 先着130名(定員になり次第終了)
- 募集期間** 平成24年10月15日(月) 12:00~
- 参加費** 事前: JASTRO会員 10,000円 非会員 12,000円
当日: JASTRO会員 12,000円 非会員 14,000円 ※昼食代含む
- 応募方法** 日本放射線腫瘍学会HPより登録
<http://www.jastro.or.jp>

代表世話人 北原 規
(国際医療福祉大学大学院放射線・情報科学部門教授)

問合せ先: 放射線生物学セミナー運営事務局
(有)クワンタム内 E-mail: info@quantum-inc.jp
FAX: 03-5684-1650



プログラム 司会: 北原 規(国際医療福祉大学)

| 時間 | 種別 | 科目 | キーワード | トピックス | 講師(所属) |
|-------------|------------|------------------------------|--|--------------------------|--------------------------|
| 9:55-10:00 | | 開会の挨拶: 日本放射線腫瘍学会教育委員会委員長 | | | |
| 10:00-10:45 | 総論 (基礎) | 放射線生物学概論 | L-Qモデル、腫瘍制御確率、一塩基多型(SNPs)、システム生物学、個別化治療 | | 三浦 雅彦 (東京医科歯科大学) |
| 10:45-11:30 | | 分子生物学的実験法 | 発現ベクター、ノックダウン、qRT-PCR、ウェスタンブロットティング、DNA損傷フォーカス | | 原田 浩 (京都大学) |
| 11:30-11:40 | 各論 | 休憩(10分) | | | |
| 11:40-12:25 | | 放射線によるがん細胞死 | 増殖死、間期死、ネクローシス、アポトーシス、オートファジー | がん幹細胞、がん免疫 | 高橋 昭久 (群馬大学) |
| 12:25-13:30 | | 昼食(約1時間) | | | |
| 13:30-14:15 | | 放射線によるシグナル伝達の修飾 | DNA損傷認識、細胞周期チェックポイント、生存および細胞死シグナル、放射線適応応答、放射線誘発バイスタンダー応答 | EGFR、mTOR、nitric oxide | 松本 英樹 (福井大学) |
| 14:15-15:00 | | 放射線によるDNA損傷と修復 | DNA2重鎖切断、染色体異常、非同末端結合、相同組換え、放射線高感受性遺伝病 | クラスターDNA損傷 | 富田 雅典 (電力中央研究所) |
| 15:00-15:10 | | 休憩(10分) | | | |
| 15:10-15:55 | | 放射線感受性を修飾する内因性および外因性因子 | 4(5)R、腫瘍内微小環境、放射線照射様式、併用治療、治療既往歴 | 腫瘍内低酸素の克服、小線源治療、ハイパーサーミア | 増永 慎一郎 (京都大学) |
| 15:55-16:40 | 総論 (臨床) | 放射線治療医からみた放射線生物学 | 放射線感受性、分子標的、放射線応答、化学放射線療法、感受性増感 | | 秋元 哲夫 (国立がん研究センター東病院) |
| 16:40-16:50 | | 関連学会の紹介 | | | |
| 16:50-16:55 | | 閉会挨拶: 近藤 隆(日本放射線腫瘍学会・生物部会会長) | | | |